

R3年度 峯ヶ塚古墳弾性波探査等業務委託に関する経過報告

資料 4

■目的
追加的勧告d)「非破壊で墳丘の構造的安定性を評価するための手法について検討すること」への対応

■探査方法とその概要

- ・昨年度の地盤調査方法比較検討委託業務によって導き出された弾性波探査方法を採用
- ・地表面付近で人工的に弾性波を発生させ、その波を地表に設置した測定装置で観測
(=地盤が締まっていれば波は速く伝わり、地盤が緩んでいれば波は遅く伝わる)
- ・貫入 (SWS) 試験も実施する

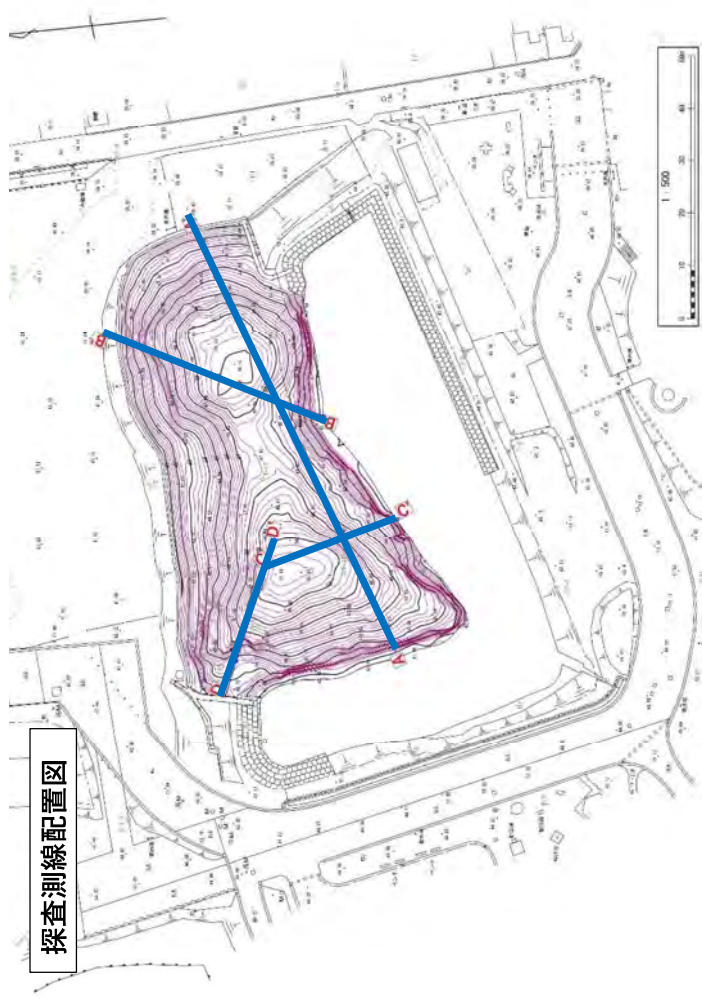
■対象古墳

羽曳野市峯ヶ塚古墳

昨年度実施した、地盤調査方法比較検討委託業務において、調査対象とした7基の古墳のなかで最も崩壊リスクの高い古墳として選定された

■進捗状況

- 10月26日、27日に弾性波探査を実施
 - 11月25日、26日に貫入試験を実施
- 解析に約3ヶ月



調査風景



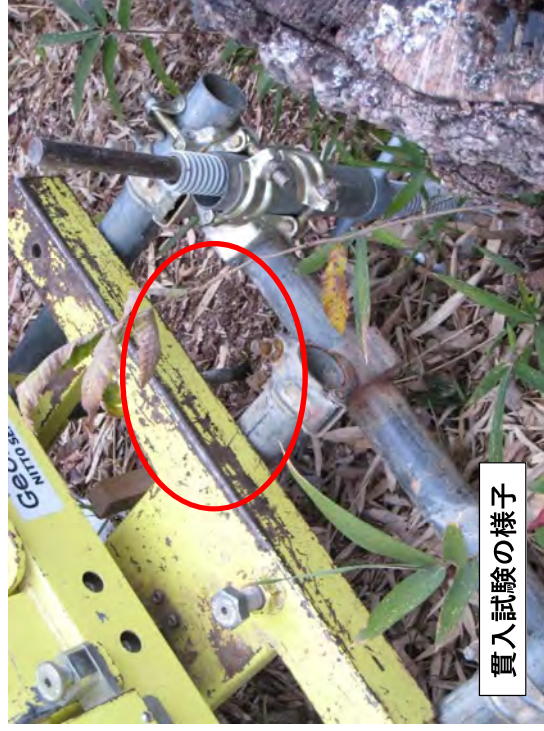
調査風景



使用器具



貫入試験の様子



貫入試験の様子



埋戻し